

公表

事業所における自己評価総括表(児童発達支援事業所)

○事業所名	まっくびーカレッジ太閤通校		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日 ~ 2025年 2月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2025年 2月 24日 ~ 2025年 3月 14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所のプログラムにおいて基本的には集団活動を基本とし、多種多様なプログラムを開催するようにしている。 お子様を飽きさせず、楽しく療育につなげていけるように職員間で共有を行い、支援を行っている。 お子様の生活に必要なスキルの獲得にも力を入れており、保護者様と相談の上、集団活動の中で自然と向上していけるようにしています。	プログラムの内容の立案時にチームで行い、日々の支援の記録やお子様の様子から常に必要な支援を導き出せるように話し合いを行っている。 それぞれの利用者様の状況等に応じてスタッフ間の共有の上、支援できる環境を整えています。	より職員間の連携能力を高めるため日々のミーティング等を今よりも行い、支援能力の向上に努めます。 個々によって得意不得意等状況を良く話し合う機会をスタッフ間保護者間でより増やしていき、連携強化と支援の能力向上に努めていきたいです。
2	お出かけのイベントに力を入れており、土曜日や祝日、長期休暇などに様々なお出かけ先へ社会活動を行っている。 お出かけ自体に不慣れな利用者様もいらっしゃるのでお出かけ時の社会への参加を促すことで日常にお出かけができるように支援を進めています。	お出かけ先のジャンルを多種多様にすることでお子様の興味の広がりを重視し、普段接しない人と接する機会を作ることで普段から外出等が行えるように支援を進めています。	今後もお子様のニーズをしっかりと直接聞き取ったり、保護者様と随時相談等を行うことによってお出かけ先の選定を行い、適切な支援プログラムになるように進めていきたいです。
3	法人全体で児童発達支援から始まり放課後等デイサービス、A型、B型、グループホームが存在し、卒業後も安心していただける環境が整っている。	卒業や年齢が大きくなるお子様について近隣の学年の大きいお子様を必要に応じてデイサービスに紹介したりそのお子様にとってよりよい環境で療育を行えるように進めている。	今後も必要に応じて保護者様と相談やアドバイス等を行い、お子様自身により良い環境を提供できるように整備を進めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	書類面でマニュアルや安全計画、BCP等整備を行い、準備を進めているがうまく現場等で円滑に実行できるように訓練を重ねる必要があり、保護者様への周知が上手くできていない状況である。	今年度より新たに義務化された内容も多く、把握と訓練の実施に時間がかかってしまい、保護者様への周知ができていない状況となっていた。	従業員への周知や訓練も進めることができているので今後はLINEや送迎時の対応にて少しずつ共有ができるように進めるようにします。
2	上手くプログラムの内容を写真等で伝えはしているが伝えきれていない部分がある。	今後はSNS等のアカウントは存在しているが上手く活用ができていない。	今後は適宜SNS等を活用して普段の様子等をよりお伝えできるように活動を進めていきます。